

野菜作り

金沢市のJA金沢中央は、職員が農業の実践的な技能を身につけることができるよう、今年度から全職員約140人に野菜作りに取り組んでもらう。職員のうち野菜栽培の経験がある職員は1〜2割で、競争力向上へ農家を支援するためには、職員自ら現場の苦勞を知る必要があると考えた。12日から同市袋田町の畑で苗植えを始め、収穫まで体験する。

金沢中央 あすから

職員が栽培するのはナス、キュウリ、ピーマン、金時草や春菊などで、袋田町に設置された約1800平方メートルのビニールハウスで育てる。ハウスには幅1.5メートル、長さ7メートルの区画が計8カ所設けられ、JA金沢中央の本店と6支店、営農経済部の8部署の職員が1区画ずつ担当する。

JA金沢中央によると、職員は稲作農家の繁忙期となる春秋の田植えや稲刈り、餅の加工などでは応援に当たってきたが、能登や南加賀などと比べて、農家が実際に野菜を栽培する手順を教える。8月下旬までの栽培期間中、水やりや殺虫対策などを当番制とし、全職員が栽培に携われるようにする。

JA職員も

出身の職員が少なく、野菜作りに関しては未経験者が多かった。

同JAに所属する農家は約1900人で、65歳以上が半数程度を占める。高齢

大半が栽培未経験

現場の苦勞知ろう



JA金沢中央
職員野菜栽培ハウス

化に伴う世代交代が進んでおり、職員が野菜作りを通じて知識を習得すること、経験の浅い農家の相談にも適切に対応しようと、栽培に取り組むことにした。

収穫した野菜は職員の調理会や組合員の感謝祭などで利用する。営農経済部の藤江悟次長は「農家により良い支援を行えるように職員一人一人の能力を高め、農業を通じた地域活性化につなげたい」と話した。

住人「警報器は作動」
北九州市小倉北区の木造2階建てアパートが全焼し6人が死亡した火災で、避難した住人の部屋に付いていた住宅用火災警報器は作動していたことが11日、分かった。警報器は他の15部屋にも全て付いており、消防局は6人の部屋の作動

状況など防火設備調べている。
2階に住んで（68）によると、よつとした時に「火事です、火警報器が作動。煙式の殺虫剤にも作動し、同聞いたという。消防庁などに報告は2011に全ての住宅で義務化された。電化で作動しないため定期的なで、市消防局は者による点検状いる。

職員が野菜作りを行う
▲ビニールハウス
■金沢市袋田町

笈ヶ岳で男性遭難

宿泊先に戻らず、白山署坤

白山署は11日、白山市の笈ヶ岳（1841メートル）に登山していたとみられる京都府長岡京市の男性（62）が行方不明になったと発表した。同署は男性が遭難した可能性があるとみて捜索を始めた。

白山署によると、男性は10日午前2時に宿泊していた市内の宿泊施設を出発した。午後5時の下山予定時



刻を過ぎて戻らず、従業員が白山署鶴来庁舎に届け出た。男性は10日もこの宿泊施設に泊まる予定だった。石川県警白山署は、11日午前男性の捜索を開始した。白山署は中宮温泉センターに現地とし、情報収集に男性は1人で山みられ、装備やかかっていない。笈ヶ岳は石川

カシノ店から押収したハカラ台
11日午前10時40分、富山中央署

5人の逮捕容疑はバカラ賭博をした疑い。
県警に「カシノがある」